

当麻東原古墳(相模原市)

たいまあづまはら

ここは当麻東原公園/正面前方で人が立っている場所が当麻東原古墳の墳頂



墳丘の周り(周溝部分)には植栽が植えられている/手前に説明板がある



当麻東原古墳

相模原市長 綿登野之重

相模原市指定史跡名勝天然記念物

平成元年二月三日指定

当麻東原古墳は、相模川左岸に築かれた河原石を積み上げた横穴式石室をもつ円墳です。墳立の規模は直径十六メートル・高さ約三メートルで、墳立の周囲には幅二メートルの溝が巡っています。埋葬施設である石室の中からは装身具や武器具などの副葬品が四百点余り発見されています。

本古墳は、当麻谷原古墳群と並び古墳時代後期の7世紀代に造られたもので、相模川低地に生産活動の場をもつた集団の長の墓と考えられます。また昔から「馬塚」や「名馬塚」という名で伝承され、永く保存されていました。

高塚古墳が少ない相模原市にあって、良好な状態で残っており、かつ当地の古墳時代の姿を伝えるものとして貴重であるため相模原市指定史跡名勝天然記念物に指定されました。

平成二年三月

相模原市教育委員会

墳頂には板石が敷かれている



左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



ここが墳頂



墳丘を見下ろしたところ



墳丘からの眺め/相模川を望む

 video



植栽の切れ目から見た墳丘



参考ホームページ

<https://kofun.info/kofun/719>

https://tesshow.jp/kanagawa/sagamihara/sight_taima_higashi.html

<https://ankenna.blog.fc2.com/blog-entry-312.html>

